

平成23年度第6回宇都宮市河内自治会議会議録

- 1 日時 平成24年1月17日(火) 午後2時00分～午後5時00分
- 2 場所 河内地域自治センター 第1・2会議室
- 3 出席者
【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 石渡重道委員, 伊藤昭博委員,
 計16名 太田達彦委員, 加藤幸雄委員, 君島京子委員, 駒田静雄委員, 渋井トミ子委員,
 五月女京子委員, 田村正男委員, 中西幸子委員, 中山光幸委員, 真壁諦委員,
 松谷宣子委員, 吉田恵美子委員
- 【事務局】** 地域自治制度担当副参事, 河内地域自治センター所長, 地域経営課長,
 計8名 ほか5名
- 4 会議の公開・非公開 公開
- 5 傍聴者数 なし
- 6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は16名, 磯川委員, 櫻井委員, 清水委員, 高久委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 報告事項

- ・「地域のまちづくりに関する施策の提案」についての回答

事務局	平成23年3月に河内自治会議から提案された「地域のまちづくりに関する施策の提案」に対して, 市長からの回答があり, 本日は, 市長に代わり, 自治振興部地域自治制度担当副参事, 岡から杉原会長へお渡しする。
地域自治制度担当副参事	平成23年3月2日付でご提出いただいた「地域のまちづくりに関する施策の提案」について, 本日, その回答をお持ちした。 この提案書については, 全委員の皆様が慎重にご協議いただいたものであり, 3つの柱に区分した7つの提案を頂き, 今後の河内地域のまちづくりを進める上で, 大変貴重な提案と市としても受け止めている。 今回の回答内容については, 3つの柱ごとの総括した回答とさせていただいたので, 後ほどご覧頂きたいと思う。 今回の会議からは, 1年後のまちづくり提案に向け, 河内地域が, 自然や文化, 長い歴史に支えられ, これまで大きく発展してきた経過を踏まえ, さらに魅力ある地域となるためのご提案を期待する。 それでは, 本書のとおりご回答申し上げますので, よろしく願います。
事務局	委員の皆様へは, 回答書の写しを配付する。 今後, 委員の皆様には, 「地域のまちづくりに関する施策の提案」について, 協議していただくことになる。これに先立ち, さまざまなまちづくりに携わっておられる, 宇都宮大学名誉教授である杉原会長から「地域主権改革の全体像について」のご講演をいただきたいと思う。 それでは, 杉原会長, よろしく。

(3) 講演

- ・地域主権改革の全体像について

会 長	<p>本日は、「地域主権改革の全体像について」ということで講演する。皆様の参考になれば幸いである。</p> <p>(参考資料1及び2に基づき講演)</p>
事務局	<p>それでは協議事項に移りたいと思う。</p> <p>この後の進行については、会長にお願いする。</p>

(4) 協議事項

- ・「地域のまちづくりに関する施策の提案」について
 - ア. 「地域のまちづくりに関する施策の提案」の考え方について
 - イ. 今後の「地域のまちづくりに関する施策の提案」の全体的な流れについて
 - ウ. 協議方法について
 - エ. テーマの選定について

発言者	発言内容
会 長	<p>それでは、協議事項に移る。</p> <p>協議事項の(1)から(3)までは関連があるので、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 「地域のまちづくりに関する施策の提案について」の説明 資料1-1, 1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの提案の概要 ・これまでの提案協議の流れ ・これまでの提案についての委員からの意見や感想等 ・今後の提案の方向性, 全体的な流れ <p>(2) 協議方法についての説明 資料2-1, 2-2, 2-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨 ・グループ協議の流れ ・グループ編成(案) ・グループ協議の手順(案) ・グループ編成(案) ・「地域のまちづくりに関する施策の提案」までの流れ(期間的流れ) <p>(3) テーマの選定について説明 資料3-1, 3-2, 参考資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の体系イメージ(案) ・「地域のまちづくりに関する施策の提案」に係るテーマ選定資料 ・宇都宮市第5次総合計画分野別計画
会 長	<p>それでは、協議事項について、一つずつ意見を伺いたいと思うが、(1)「地域のまちづくりに関する施策の提案」について、意見はあるか。</p>
委 員	<p>これまでの提案についての委員からの意見や感想等について、検討した結果がなかなか上手くいかなかったのではないかと受け取った。この場合、時間的余裕がどのくらいあったかということが問題なのではないかと思う。</p>

	<p>これまでの提案協議の流れでは、各部会を自主的に随時開催し、協議し、自治会議で報告となっているが、過去の例で言うと何回くらい協議して、いつまとめたのか、詳細がわかれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>第2期の委員の状況について説明する。</p> <p>部会は、初年度5月頃から開催し、部会により開催の頻度は異なるが、約2年弱で、12～15回位開催していた。</p> <p>自治会議がおおよそ2ヶ月に1回くらいの頻度で開催していたので、それぞれの部会の進捗状況は、その会議の都度発表していた。</p> <p>それぞれの部会から、11月ごろ提案の素案を提出していただき、まとめ、全体協議のうえで提案書を作成したという経緯である。</p>
委員	<p>1ヶ月に1回位の頻度で部会を開催していたと考ええると、時間的余裕は十分にあったと思われるのだが、なぜ、まとめが不十分な結果になったのだろうか。</p>
委員	<p>前回第2期の反省も踏まえてお話する。</p> <p>2期目の段階で、提案というものが、長期計画に基づくものなのか、具体的に短期で行う要望的なものなのか、意味合いがわかかっていなかったというのが大きな原因だった。</p> <p>それぞれの部会では、「どんな河内地域にしようか」という思いで、部会ごとに現状把握から協議、提案とまとめてやっていた。</p> <p>自治会議の場合は本来、その報告を協議する役割があったと認識していたが、最後の提案書作成時期まで部会の案をずっと引きずる形になってしまった。最終段階で、他の部会内容に意見を言いにくい環境が出来上がってしまった。</p> <p>委員20人で、それぞれのテーマについて皆の思いを統一した形にするためには、今回の方法は有効である。</p>
委員	<p>大体の把握はできた。</p> <p>予定の件だが、資料にもおおよその時間的流れについて表示はあるが、もう少し具体的に決めていただけると私達としても理解しやすく、上手くいくのではないか。</p>
事務局	<p>今後の予定については、具体的にいつごろ、何をやるのか等含めて、これから決めていただきたい。</p> <p>事務局としても、今回はひとつの案として皆様に提示したので、これからの方向性は、皆様の思いを尊重した形にしたい。</p>
委員	<p>今期23年度・24年度の役割について、個別テーマを決めるとするのは、「産業」「福祉」「環境」という大まかなくりを決めるのか。それとももっと細かい、具体的なテーマを決めるということなのか。</p> <p>また、それが決まったら今期ではそのうちの1つを提案し、次期でまた他の1つを提案する。これを続けていくと、もう残りは3期しかないのだから、3つのテーマにしか取り組めないことになる。その辺の取り組みについてはどのようにしたらいいのか疑問に思う。</p>
事務局	<p>提案の体系については、資料にイメージ図を示したとおり、今期で1つのテーマ、25年、26年、27年度でそれぞれ1つずつ、合計4つのテーマについて協議していただき、28年度は最終年度ということで、総括した提案書の作成と</p>

	<p>いう流れを示したものである。</p>
委員	<p>私達の任期は2年であり、1年ずつ別々に分けて協議するのはバランスが取りにくいように思われる。任期に合わせて2年のサイクルで1つのテーマについて協議していくのが妥当であると考えますが、いかがか。</p> <p>また、テーマについても、すべての期において整合性が取れるようにしていかないといけない。</p>
事務局	<p>3・4・5期、それぞれ個別のテーマを議論していただくわけだが、事務局としては、委員の方々への負担、テーマ内容の深さなどを加味し、時間をかけて1つのテーマに取り掛かっていけるような時間配分を考えて行きたい。</p> <p>特に今期は初めての取り組みになるので、時間をかけて皆様でじっくり理解しあいながら進めていただきたいので、2年間で1つのテーマと提示した。</p>
会長	<p>以上の点も含めて、今後のスケジュールの件になってくると思われる。スケジュールについては、大まかな案しか提示していないので、今後、私も委員の皆様や事務局とも良く相談して、スケジュール設定をしていきたいと思っている。よろしいか。</p>
委員	<p>スケジュールだけの問題ではなく、ジャンルやテーマをどう決めて何にするのか、今後どう取り組んでいくのかということは、今後の会議の方向性に大きく関わってくることであり、もっと慎重に議論すべきことだと思うが。</p>
委員	<p>テーマの選定は非常に難しいことだ。過去の第1期、2期の提案書を見ると、似た項目もあり、新しく立ち上がった項目もある。これは、1期、2期の委員が、最終の28年度に向けて、10年というスパンで考えたのではなく、各々の任期2年間の範囲でまとめていく傾向があったからではないか。</p> <p>これからは、任期2年の中でまとめてしまうのではなく、最終年までの長期的で継続可能なものをテーマとして決め、実践するためには、「いつまでに・どのように」していくのかという実行可能なプランを立て、煮詰めていくことが重要だ。</p> <p>また、私達自治会議の意見だけで提案書を作っていくのではなく、まちづくり協議会とどのように連携していくのか、ということも視野に入れていかないといけないのではないか。自治会議とまちづくり協議会が個別に活動していくのではなく、もっと密に連携を取れるような機会がほしいがいかがか。</p>
事務局	<p>自治会議もまちづくり協議会も、河内地域をより良いものにしたいという思いは同じであり、事務局としても、双方と相談しながら意見交換等の機会を設けていくよう、調整していきたい。</p> <p>テーマの設定については、とても重要なことであり、次回の会議以降、時間をかけて皆様でじっくり協議していただくことが必要だ。事務局としては、テーマの参考として今回の資料を提示させていただいた。この資料だけにとらわれず、委員の様々な思い、意見を出していただき、次回の会議までに集計したものを提示するので、テーマ設定に関する資料としていただきたい。</p>
会長	<p>補足として、資料にある提案の体系のイメージ図だが、まだ考え中の案であり、委員の皆様から意見をいただきたい。</p> <p>これからの会議では、「住民主体のまちづくり」ということが全ての共通・中心になってくるような提案、議論の進め方にしていきたい。</p>

	この図のとおりにしてほしいということではなく、皆様にイメージを共有化させていただきたい。
委員	テーマの選定を先に行ったうえで提案の体系のイメージを練り上げるべきではないか。やり方の順序を変えればわかりやすくなるのではないか。
事務局	<p>宇都宮市の総合計画というものは、基本構想（15年後の都市像を描いたもの）、基本計画（10年間の計画、前期5年・後期5年中間で見直し）、実施計画（3年ごとの具体的な計画）という構造になっている。それと共に、自治振興部で進めている地域ビジョンというまちづくり計画は、まちづくり協議会が中心となって、10年後に向けて河内地区がどのような目標を持って、将来像を掲げていくのかという取り組みで、動き出したばかりの計画である。</p> <p>自治会議の提案は、自治会議が終了しても、まちづくり協議会で進めていく地域ビジョンの行動計画としてうまくつながるように、中長期的に見て行きたい。</p> <p>今までは、第1期・2期とそれぞれ2年間の中で、委員の皆様の意見をまとめていただいたわけだが、過去の提案書の項目を総合計画の分野別計画で分けると、テーマが分類され、より多く出ている分野がわかっただけ。今後6年間の進め方として、今までに出てこなかった分野のテーマを補っていただくなど年度ごとに検討していき、最終の28年度には、これまでの提案を全て含めてもう一度、見直しをするような方向で考えている。</p> <p>今回提示したものはあくまでも参考であり、次回以降、集計した資料等を参考に議論していただきたい。</p>
委員	提案の体系というものは、私達の意見を提出した後、次回の会議で決めるという解釈でよいか。
事務局	<p>はい、そのとおり。</p> <p>あくまで本日は、次回の会議以降で議論していただくための資料を皆様にお示しした。ご理解いただきたい。</p>
会長	事務局が提案したテーマ選定資料では、テーマをこの中から選ばなくてはいけないと解釈してしまいがちだが、あくまでテーマの例示だと思っていただき、特に取り組みでみたい項目等があれば、その他欄に書き込んで欲しい。
委員	<p>今期も、あと1年と少し、どこまでいいものを作れるかと考えている。</p> <p>それぞれの年度でそれぞれのテーマについて議論した成果が、28年度に全て揃うわけだが、28年度の1年間で果たして見直し・総括することが可能だろうか。時間的に足りないのではないかと心配だ。</p>
会長	そこまでのプロセスがしっかりしていれば、無理ではないと考える。27年度までの議論の軸がぶれなければ、28年度の1年で全てを集約していくことは可能だと思う。
委員	<p>第1期・2期で出した提案を、今後のやり方にどうリンクさせていくか、どうやって融合させていくかも問題になってくる。</p> <p>まとめる作業がとても大変になるのではないかと。</p>
事務局	現時点では、設定したイメージについて、27年度まで協議するものとし、28年度を総括の年と考え、皆様に大筋の柱を決めていただき、体系のイメージ作りをしていただく。そこに第1期、2期に提案していただいた項目をあてはめて、

	<p>総トータルで10年間の大きな提案となるような体系をイメージしている。</p> <p>「住民主体のまちづくり」という認識を中心に共有し、その周りに、教育文化・環境・都市基盤などの項目の提案が当てはまるようなイメージと捕らえていただきたい。</p> <p>それが26年度の進捗状況で、総括には2年間必要なのではないかと、27・28年度の2年間をかけてもう一度提案を見直す方向で進めたい、などの意見が出てくる可能性も考えらるので、柔軟に対応していきたい。</p>
委員	イメージの説明は理解した。最終年度で全てをまとめられるのか心配だ。
事務局	<p>次回協議していただく全体テーマと個別テーマの数や内容によっては、個別テーマの検討そのものが27年度より前に、26年度時点で終わってしまう場合もある。月日が流れると、社会の状況も変わるので、19年度からの提案内容を見直す作業も、慎重に、時間をかけてということで、期間が2年間となる可能性もある。</p> <p>今回ご理解いただきたいのは、今までの1期2年間で完結する提案ではなく、最終年度を見据えた中長期的提案へ変えて行くということである。</p>
委員	事務局から提示のあった、提案までのスケジュールは、資料のとおり進めればよいと思う。そのためには、過去の第1期・2期の提案書資料を各委員に配付すれば、理解しやすいと思われる。それを基にすれば、私達各委員も考えやすいのではないかと。
事務局	第1期と2期の提案書については、第1回の会議にて配付したと思うが、いかがか。お手元に無い方がいたらすぐに用意する。
委員	<p>第1期と2期の提案を見ると、とても似ていると感じるが、私達3期の検討内容は、第1期と2期のものに制約を受けるのか、全く自由なのか。</p> <p>先のことにとらわれすぎてしまうと、斬新なアイデアがなくなってしまう心配があるが、温故知新で先を検討するのもいいかと思う。</p> <p>事務局への質問だが、先程の10年は、行政の計画が10年ということか。</p>
事務局	<p>はい、そうである。一番大きい計画が総合計画で、前期5年・後期5年の10年間である。前期の5年の終了時に見直しを行い、後期計画を変える、という仕組みになっている。</p> <p>今回のまちづくり提案についても、基本的には2年、3年先ではなく、10年後の目標ということになり、将来的にこの地区をどうするか、という長い目で見た提案になる。まちづくり協議会で行っている地域ビジョンも解釈は同じ。</p> <p>行政の立場から申し上げますと、総合計画や実施計画の中に今回の提案を取り入れてもらうためには、提案を出すタイミングが、それぞれの計画見直しの時期とタイミングが合致した方がいい。</p> <p>今後については、第1期・2期分を含めて、最終年度の28年度までに、全体的な体系の見直しと単年度の取り組みを整理し、全体的なものを集約した提案書を提出すれば、今までの2年単位で出来上がったものと比べて、違った扱いになることも考えられる。それに伴い、地域ビジョンにもつながり、内容が活かされていくのではないかと。</p>

委員	<p>10年という期間は、かなり長く、今非常に時代の移り変わりが激しいため、まとめにくく、論議しにくい部分もあるのではないかと。しかし、市の計画にのっかって私達もやるということなのでやむを得ない。3期で責任ある結果を出すということに努めよう。</p>
会長	<p>他の委員の方から何かご意見はあるか。</p>
委員	<p>我々自治会議の、位置づけと役割というものを今一度確認・理解したい。</p> <p>1つ目の役割とは、合併市町村基本計画の執行状況について、市長からの諮問に答申すること。これは、合併により河内町が宇都宮市の一部になった時に交わした、いくつかの約束事について、進捗状況を確認し、意見を述べるということ。</p> <p>2つ目の役割は、まちづくりに関する施策の提案をすること。これは、この河内地区にどのような投資をして、どのように税金を使っていこうなど、行政の予算に踏み込み、反映できるような提案をすることである。</p> <p>まちづくり協議会が行っている地域ビジョンは、自分達の住んでいる地域を盛り上げていこうという形で、自分たちができることを積み重ね、市がそれを応援していくという体制であり、自治会議とは性質が違っていると認識している。</p> <p>今回も、内容やテーマを検討し直すことになっているが、先程も述べたように、道路についても環境についても、市の財政が厳しとはいえ、行政の予算に踏み込んでいくようなテーマを提案するのが、自治会議の趣旨なのではないか。</p>
事務局	<p>地域のまちづくりに関する施策の提案なので、あくまでも、行政にやってもらいたい提案をするものではないということである。</p>
委員	<p>行政は、我々が納めた税金を代行して事業へ使っているわけで、その施策は、私達が決めたものではない。私達は今、市の構想・税金の使われ方に対して、もっと有効な場面や方法で使って欲しいという提案をするべきだと思っている。自治会議への参画は、とても重たいものであると認識している。予算の執行などについても、5年ごとの計画で決めていて、事業が計画に載っているから、いないからという問題ではなく、何を載せれば住民の幸せにつながるのか、ということを中心に考えていかなければいけない。</p>
事務局	<p>限られた財源の中で、どのように有効に使っていくかは、よく考えていかなければならない。</p> <p>施策の選択として、河内地区では、岡本駅西土地区画整理事業や下水道、道路改良などの事業には毎年かなりの額の税金が費やされている。その一方で、地域のコミュニティに関するものや地域づくりに関する身近な事業については、できるものは市民の皆様でやってもらおうということになっている。</p> <p>まちづくりに関する施策は、突き詰めていけば、①最終的に行政しかできないもの、②協力があれば市民の方でできるもの、③両者が協力して協働でやっていくものの3つに分かれると考えられる。自治会議で提案される際には、まちづくりという視点から、市でしかできないもの、市民ができるものの両方の考え方がないとできないのではないかと考える。</p>
会長	<p>私の考えとして、この自治会議からの提案とは、市民主権の確立のための活動だと思っている。利害誘導集団になってはいけない。地域のエゴや地域の利益だけを目標にするのではなく、住民主体のまち、市民主権を確立するための提案を</p>

	<p>していくことが必要になってくると思う。第1期・2期の提案でも、その思いは十分感じられ、真剣に考えられた跡が提案書として残っている。</p> <p>現実の活動として、まちづくり協議会と何が違うのかという話もあったが、違いはなくてもよい。協働できればどんどん協働していき、融合していけばよい。</p> <p>組織が違うから違うことをやるべきだと、私は考えない。</p>
委員	<p>もちろん私も、税金を一部の利益のために使って欲しいとは毛頭思っていない。一番言いたいのは、自治会議の提案を、市の計画の中に入れ込んで欲しい、政策や施策に盛り込んで欲しい、ということである。住民が声を出したものをいかに行政がフォローして厳しい財源の中でやっていくかということ、提案すべきだ。</p> <p>今、河内地域でも、開発が盛んに行われていて、多くの田畑が宅地化されている。元々河内町とは、農村地帯と居住地帯が分かれ、素晴らしい環境を保ち、維持してきた地区である。そんな地域の住環境の問題、岡本駅周辺地域の活性化の問題、下水道の問題、道路の問題、里山を子供たちが遊べるようにするにはどうしたらいいかなど、この地域を愛しているからこそ出てくる住民の声が、施策に結びついて欲しい。</p>
会長	<p>それでは、沢山意見も出たので、この辺で区切らせていただく。今期の委員の皆様は、第1期の提案書をお持ちでないようなので、参考資料として事務局から配付していただくよう、お願いします。</p> <p>次の(2)協議方法についてご意見を伺いたいと思う。何か意見はあるか。</p>
会長	<p>先程の協議と内容が重複しているものも見受けられる。</p> <p>資料を見ていただくと分かるように、この会議の委員をグループ分けしてそれぞれで協議し、そのあと全体で意見交換をするといった協議の方法である。第1期・2期のように、提案の時期までそれぞれのグループだけでまとめるのではなく、その都度会議の最後は全員で協議するという方法は、私は良いと思う。</p> <p>案として、3つのグループのうち1つは、女性だけのグループとした。女性からの視点で気づくことや、全体では言いにくい女性同士だから言える、ということがあるのではないかと思ったからである。何か意見はあるか。</p>
委員	<p>私も、この方法は良いと思う。第1期・2期のときの感想であったように、他のグループの案に対して意見が言いにくいという状況にならぬよう心がけながら、グループ協議・全体協議を綿密に行っていけば、うまくいくと思われる。</p>
事務局	<p>先程のご意見のとおり、各グループ協議後の全体協議で、各委員からの意見について質疑応答などを行い、共通認識を得てからひとつひとつ進んで行くような方法をとって行きたい。</p>
委員	<p>私も協議方法には賛成だが、グループ編成のことで意見がある。</p> <p>1つのテーマについて、3つのグループで同じテーマについて議論するわけだから、毎回グループ編成を変えたら良いと思う。グループのメンバーが変われば、また斬新な意見も出てくるのではないか。</p>
事務局	<p>まず初めから2回くらいは同じグループで協議していただき、その後、メンバーを変えていくようにすると良いのではないか。</p>
委員	<p>グループ協議の途中で一部メンバーを入れ替えるということではなく、会議ごとにグループ編成を変えていくということか。了承した。</p>

会 長	<p>グループ編成案でも、グループ編成は必要に応じて、適宜変更する。とあるので、この適宜とは、おおよそ2回から3回程度、その時のグループの状況にもよるが、そのくらいのペースと考えていただければと思う。メンバーを最後まで固定して協議していくということではない。よろしいか。</p> <p>他に何か意見はあるか。</p>
全委員	(意見なし)
会 長	<p>それでは、協議方法は案のとおりとさせていただきます。</p> <p>(3) テーマの選定について、先程からの議論にもこの内容が多く含まれていたが、その他何か意見はあるか。</p> <p>事務局から出されたテーマ選定案が25項目あるが、何について重点的に取り組んでいくかは、市民権を確立するために河内地域としてできること、やらなければならないことは何かを考えて、検討していきたい。</p>
委 員	<p>テーマの選定資料を見ると、内容が似ている項目がいくつも見受けらる。この25項目の中から5項目を選ぶのではなく、過去の提案書などを参考にしながら各自思っている事柄を5個計上すれば良いと思う。いかがか。</p>
事務局	<p>あくまでもこれはテーマを選定するための資料なので、参考としてお使いいただきたい。自分の思いや、感じることをご自身の言葉で書いていただく欄も設けているので、そちらも是非利用していただきたい。</p> <p>その後、皆様の意見を集計してお渡しするので、またそれを参考に、テーマ決定の協議に移っていただきたい。</p>
委 員	<p>皆様の意見に私も賛成する。今後、テーマを決定した後、どのように会議を組み立てていくかも重要になってくる。</p>
委 員	<p>事務局にお願いがある。皆様から集まったテーマ選定資料は、事務局でうまくまとめた資料にせず、名前の公表までは求めないので、委員の皆様生の声をそのまま集計してほしいと思う。</p>
事務局	<p>会長、副会長と協議して対応したい。</p>
会 長	<p>それをお願いします。</p>

(5) その他

- ・河内地区まちづくり協議会との連携について
- ・先進地視察の感想について
- ・次回の開催日程について
- ・その他
 - 「地域のまちづくりに関する施策の提案」に係るテーマの選定資料提出の依頼
 - 懇親会の開催提案
 - 地区行政課職員から、「第2次宇都宮市地区行政推進計画(素案)」と、「みんなでまちづくりプラン(第2次市民協働推進計画)」に関するパブリックコメントについて説明

(6) 閉会